



教育厚生委員会 行政視察復命書（調査研修報告書）

令和 6 年 7 月 20 日

間野みどり

（実施日時） 令和 6 年 7 月 10 日（水）～7 月 11 日（木）

（用務先） ①埼玉県八潮市（八條北小学校）
②埼玉県草加市（リサイクルセンター）
③群馬県高崎市（高崎タワー美術館）

（目的） それぞれの施設をめぐり、これからの伊豆市の考え方、方向性などを勉強し、議員生活に役立てる。

①はじめの八潮市では、八條北小学校の英語指導力改善事業における外国語教育について研修させていただきました。

八潮市は、東京都のすぐ北で、都心から 15km の所にあり、比較的便利な地域と思いました。人口は、93,000 人余り、首都圏に位置しながらも、ゆるやかに流れる河川に囲まれ、風光明媚で、自然豊かにも見えました。農場も盛んで、枝豆や小松菜の産地としても有名です。

令和 2 年から県の指定で、英語教育に力を入れるようになりました。また、施設分離型・小中一貫校ということで、小学校 2 校と中学 1 校と連携を図り、教育の推進を図っているとの説明でした。

見学をして感じたことは、子ども達が元気で明るく授業を受けていたことです。伸び伸び楽しそうに勉強していました。ALT だけでなく、担任の先生も、自然体の姿が印象的でした。また、地域的に、外国の方も多いのではないかなと感じました。

研修を通して、子ども達が、無理なく自然体で受けられる授業は素晴らしいと思うと共に、先生方の研修の努力は計り知れないと感じました。

これから、このような外国語教育が支流になっていくと思いました。

② 2 つ目の草加市のリサイクルセンターでは、不用品リユース事業の現状と今後の課題について研修しました。

人口 25 万人という、我が市とは比べものにならない大きな市であり、ゴミについては大きい市であるから、リユースもできるということもわかりました。

“もったいない”という気持ちを、大切にしている様子も分かりましたが、多い人口の中で、需要と供給のバランスがうまく出来ているのだと思いました。

その中でも、我が市でも、子ども達にリサイクルなど進めたり、ホームページを使つての市民に周知する様子は、とても参考になると感じました。

我が市も、新しいリサイクルセンターの開所から、いろいろ工夫してほしいです。

③高崎市のタワー美術館では、複合施設に併設された美術館の現状と課題について研修させていただきました。

はじめは、不動産関係の民間会社が美術館をつくったが、経営上の問題から市に運営が移行したとの説明でした。要するに、経営上、市の方で引き取った施設のようです。複合施設というので、商業施設とのコラボレーションだと思っていましたが、住宅との併設ということで、比較的静かな環境であると説明がありました。

収益の点では、採算がとれる状態ではないが、それより市民の皆さんに素晴らしい芸術などを知ってもらいたいという思いが、館長さんの話から強く受け取られました。また、伊豆市の今現在の美術品などの所有数などから、的確なアドバイスをしていただき、専門家の意見を知る機会になりました。

やはり、美術館の経営に関しては、難しい問題があることを感じました。

(その他) 各市の議会だよりをいただき、広報委員の私としては、それぞれの市の特徴を知る機会になり、今後は参考にしていきたいと思いました。